

造影CT検査を実施するにあたり、造影剤による副作用が起こる可能性を理解した上で下記の事項を確認し、同意の上、署名を行ってください。情報提供書と併せて患者様にお渡しく下さい。

1、CT造影剤の使用目的

CTやその他のレントゲン検査では、造影剤を血管内に投与して白く映し出される影から、異常の有無やその状態を判断します。病気が疑われる場合には、診断、治療方針の決定のため有用な検査です。

2、造影剤と副作用について

造影剤は健康な方では12時間程度でほとんどが腎臓から尿として排泄されますが、使用に伴う危険性もあります。

- ① 腎機能の低下している方では腎臓の機能が更に悪くなる可能性があります。
- ② アレルギー反応 発熱や発疹、吐き気、かゆみなどのアレルギー反応が起こることがあります。稀に顔面や全身のむくみ、呼吸困難、血圧低下など重症な反応を起こす場合があります。ごく稀に重篤な状態に陥ることもあります。直ちに治療を開始すれば数分から数時間で軽快するのがほとんどです。迅速かつ最善の処置を行います。安心して検査を受けてください。
- ③ 造影剤の注入時に全身が熱くなることがあります。一時的なものです。
- ④ 造影剤が血管の外に漏れた場合、腫れや皮下出血をおこすことがあります。迅速に処置します。

3、造影CT検査の患者様の確認事項

※以下ご記入ください。①、②、③のうちいずれかが[有]の場合、造影剤は使用できません。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ① 治療中、あるいはコントロール不良の気管支喘息 | [無 ・ 有] |
| ② 造影剤を使用し具合が悪くなったことがある | [無 ・ 有] |
| ③ コントロール不良の甲状腺機能亢進症 | [無 ・ 有] |
| ④ 重篤な腎機能障害について | [無 ・ 有] |

※ 造影剤腎症のリスクとされています。eGFR45以下では、造影剤の減量をいたします。eGFR30以下以下では禁忌となります。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ⑤ ビグアナイド系の経口糖尿病薬(下記の薬剤)を服用している | [無 ・ 有] |
|--------------------------------|-----------|

※ 糖尿病治療薬剤の一部(メトホルミン製剤:グリコラン®、メデット錠®、メルビン錠®、ネルビス錠®、メトホルミン塩酸塩錠®、メトリオン錠®、ジベトス錠、ジベトンR腸溶錠、エクメット配合錠など)は乳酸アシドーシスを起こすことがあるので、検査48時間前から検査後48時間の間、計5日間の服用を中止することが望まれます。服用中止の指導と、必要があれば代替薬品の処方をお願いいたします。

以上、造影剤使用の必要性と目的、副作用について説明致しました。

(ご説明いただいた医師の署名をお願いいたします)

説明者:紹介元医療機関名

年 月 日 紹介元医師

造影剤使用の目的、副作用について十分に説明を受け、検査に同意します。

年 月 日 氏名

代理人署名(続柄)